

デジタルマップ ナビシステム

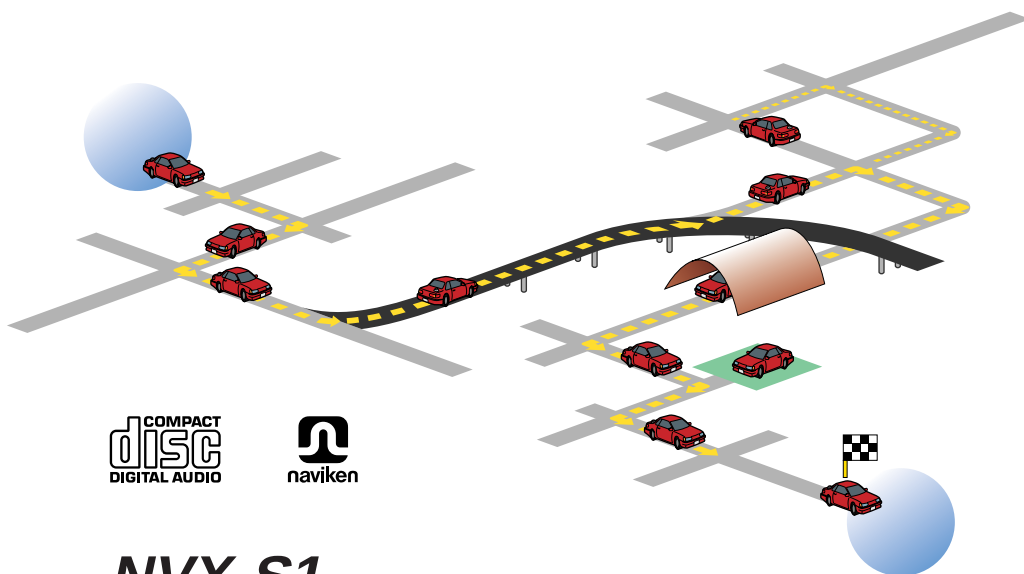
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



NVX-S1

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告 / ⚠注意	4
-----------------	---

ここだけ読んでも使えます

ルートガイド 道案内の概要	6
現在地を知る	8
ルートガイド 道案内をさせる (EZルート設定)	10

ここだけ読んでも
使えます

メニューの選びかた 14

ルートガイドを使いこなす

出発地や経由地を任意に設定して	
ルートを探す	15
ルートガイド中の便利な機能	18
音声ガイド一覧	19
ルートを探しなおす (ルート再探索)	20
設定した地点を修正する	20
設定した地点を保存する	21
保存した地点を呼び出す	22
ルートをひと通り見てみる	22
直線距離・方向だけの道案内をさせる	23

より早く目的地を探す

地名などから場所を探す	24
マークをつけておく	25
自宅を地図に登録しておく	27
緯度経度から場所を探す	28

いろいろな情報を見る

地図ディスクに収録されている情報 (アイアイエス IIS)	29
走行軌跡を表示する	30
ドライブ情報 (施設や観光情報など)	31
GPS衛星電波の受信状態を見る	32
車の速度などの情報を見る	33
地図ディスクの種類などを見る	33
リモコンボタンの説明	34

設定と調整

ルートガイドの設定	35
よく使う機能をクイックボタンに 割り当てる	36
音声の設定	36
システムの設定	37
画面の位置を微調整する	38
自転車位置を修正する	38
自律航法ユニットの接続を確認する	39

別売りの機器を接続したとき

拡張ユニットを使う	40
テレビを見る	41

その他

誤差について	42
使用できる地図ディスクについて	44
メニューの種類について	45
ご注意 / お手入れ	45
メッセージが出たら	47
故障かな?と思ったら	49
保証書とアフターサービス	51
本機のバージョンアップについて	51
主な仕様	52
用語集	53
索引	54
各ボタンの使いかた	裏表紙



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

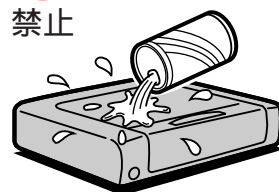
万一、ご自分で実装するときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく実装してください。正しい実装をしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



道案内の概要

あなたが決めた目的地に向かって、参考ルート（道順）を画面に表示します。

あとはそのルートに沿って走るだけです。詳しくは10～13ページをご覧ください。

本機の機能をお使いになるには、各機能に対応した地図ディスクをお使いください。詳しくは、19ページをご覧ください。

初めての場所へ
**ドライブ
開始**

交差点では

音声と矢印、交差点拡大表示で
曲がる方向をお知らせします

画面上には、参考ルートが
黄色の破線で表示されます。

1キロメートル先
○○交差点
右方向です

1キロメートル先
高速道路入口です

高速道路では

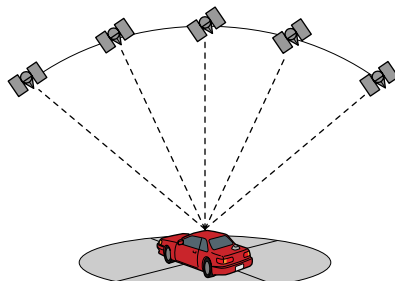
見落としがちな入口、出口も
事前にお知らせします

現在地はGPS衛星からの電波と自律航法 ユニットでわかります

迷ったときに、今どこにいるのか地図帳を開くまでもなく、本機の画面上には自車の現在地が表示されています。現在地はGPS衛星からの電波を利用して割り出しています。

現在地を測するには最低3個のGPS衛星の電波を受信しなければなりません。また、4個以上の衛星電波の受信ができると、より高い精度での測位が可能になります。

また、付属の自律航法ユニットを接続することにより、GPS衛星からの電波が正しく受信できないときも、センサーの働きによって自車位置を表示します。さらに、誤差によって自車位置が実際の道路から外れて表示されても、マップマッチング機能により、ずれを補正して正しく表示します。マップマッチングについて詳しくは、19ページを



道を間違えても

ルートを外れてしまっても、
現在地は一目瞭然。しかも、
もとの参考ルートへ戻るルート
を表示できます。

現在地を示す「自車マーク」

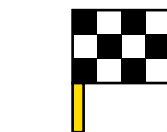


トンネル内など、衛星電波の受信
がさえぎられる場所では
現在地の表示に大きな誤差が出たり、測
位できないなどの影響が出ます。
このようなときでも、付属の自律航法ユ
ニットを接続すると自律機能で現在地を
測り出せます。

1キロメートル先
目的地付近です

目的地付近では

目的地に近づいたことを
音声で案内します



目的地到着

現在地を知る



「自車マーク」が現在地を示します

本機は現在地と進行方向を自車マークとして表示します。GPS衛星の受信状態および自律航法ユニットの動作状態によって、自車マークは以下の2種類のなかから表示されます。受信や誤差について詳しくは42ページをご覧ください。



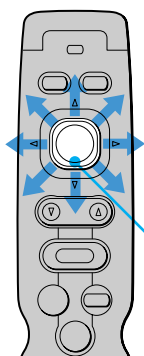
測位を行っている

3個以上の衛星の電波を受信中、あるいは自律航法中です。



衛星電波を受信できない状態で 現在地を表示できない

衛星の電波を受信できない、あるいは自律航法も働かない状態です。



ジョイスティックを動かすと、地図が動きます

車を走らせると、自車マークとともに地図の表示も自動的に変化(スクロール)します。また、リモコンのジョイスティックを動かすと、地図の表示範囲を任意に変えることができます。

ジョイスティックを上へ動かしていくと...



地図の表示範囲が変わり、前方に国道20線があるのがわかる



ジョイスティックで地図を動かした後は、現在地ボタンで元の地図に戻してください。

操作のしかた

ちょっと一言

お手持ちのモニターと接続する場合
リモコン受光部XA-180R (別売り) が
必要です。リモコン受光部の電源を入
れてから、お手持ちのモニターの電源
を入れてください。
リモコン受光部の接続についてくわし
くは、別冊の「取り付けと接続」をご
覧ください。

ご注意

電源は、車のキーがACCまたはON
の位置で入ります。

ちょっと一言

ディスク情報画面の内容について
詳しくは「地図ディスクの種類など
を見る」(33ページ)をご覧ください。
また、ディスクが入っている状態で電
源を入れたときは、ディスク情報は表
示されません。

ご注意

- 受信状態によっては、自車マークを
表示するまでに約20分ほどかかる
ことがあります。
- 一部の車はキーの位置に関係なく常
に通電していますので、お使いにな
らないときは、必ずモニターの
POWERボタンあるいはリモコン受
光部XA-180R (別売り) のPOWER
ボタンで電源を切ってください。

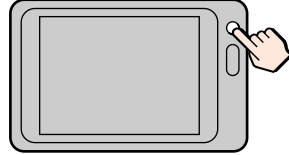
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときや、リセット
ボタン (裏表紙参照) を押したときな
ど、画面に「初期化中」と表示され、
しばらくの間、現在位置表示の誤差が
大きくなる場合があります。これは自
律航法ユニットの調整を行っているた
めで、故障ではありません。詳しく
は、「誤差を小さくするために」(44
ページ) をご覧ください。

取り付けと接続はお済みですか? (別冊の「取り付けと接続」参照)

1 別売りのモニター (XVM-G50、G60) の POWERボタンを押す

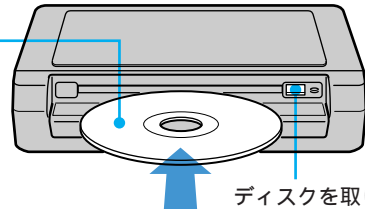
電源が入り、初期画面が表示されます。



2 地図ディスクを入れる

ディスクを軽く押すと自動的に引き込まれます。

ディスクのレーベ
ル面を上にする

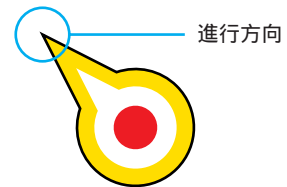


ディスクを取り
出すときに押す

ディスク情報画面が表示されたあと、自動的に地図画面にな
ります。

3 現在地ボタンを押す

地図上に現在地を示す自車マークが表示されます。



電源を切るには

モニターのパワーボタンを押します。お手持ちのモニターを接続した場合は、
リモコン受光部のPOWERボタンを押すか、車のキーの位置をOFFにしてくだ
さい。

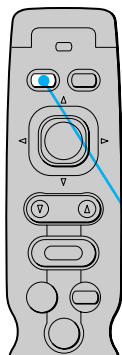
道案内をさせる (EZルート設定)

目的地への道順は黄色の破線で、 曲がる方向を音声と矢印で示します

あなたが決めた目的地への道順(ルート)を黄色の破線で表示し、このルートに沿って音声と矢印で道案内をします。また、交差点が近づくと画面の一部に自動的に拡大表示し、曲がる方向をお知らせします。

交差点拡大表示は

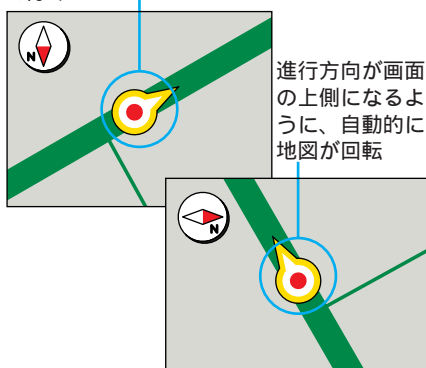
自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、交差点が表示されます。



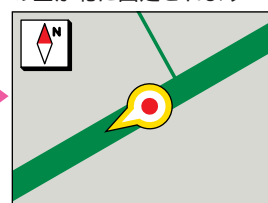
回転ボタンを押すと、地図の回転が固定されます

通常は、自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、地図画面は90度単位で自動的に回転します。画面の動きを固定したいときは、回転ボタンを押します。回転ボタンの設定については「システムの設定」(37ページ)をご覧ください。

斜め方向の道などを走って行くと...



回転ボタンを押すと、地図の上が北に固定されます



もう一度回転ボタンを押すと、自動回転に戻ります

操作のしかた

ちょっと一言

目的地が遠いときは
地図帳で探すときと同様に、おおよその場所を広域な地図で決め、そのあとに詳細な地図で目的地を探すと、目的地を早く設定することができます。地図の縮尺を変えるにはズームボタンを使います。

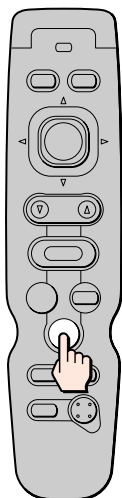


さらに詳細 / 広域画面があるとき
縮尺表示部に▲(広域) ▼(詳細)
マークが出ます。
目的地が自宅の場合は
すでに自宅が設定されている場合、手
順2で目的地ボタンを2秒以上押す
と、自宅を中心とした地図が表示され
ます。自宅の設定については、「自宅
を地図に登録しておく」(27ページ)
をご覧ください。
自動経路探索機能に対応していな
い地図ディスクを使うと
目的地までの道案内は、シンプルガイ
ド(簡易道案内)になります(23ペ
ージ)。手順3のあとにメッセージが表
示され、「シンプルガイド」に▶を合
わせ決定ボタンを押すとシンプルガイ
ドを開始します。

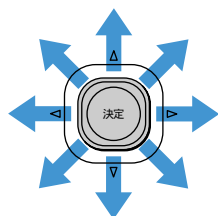
- ルートを表示するには自動経路探索対応の地図ディスクをお使いください。
- 目的地の設定は、地図を上固定すると行いやすいです。

1 目的地ボタンを押す

目的地を設定する画面になります。



2 ジョイスティックで地図を動かして、+マークを目的地に合わせる



3 決定ボタンを押す

+マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。その
あと、ルートを探す画面に変わります。



次のページへつづく

「道案内をさせる」つづき

ちょっと一言

探索条件を変えるには
手順4で「探索条件変更」に▶を合わせて決定ボタンを押します。(くわしい操作については17ページの手順13をご覧ください)

出発地が高速道路上にあるときは「高速道路上」に、高速道路を優先するときは「高速道路」に、フェリーを使用するときは「使用する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。

探したルートを修正するには
現在地と目的地の間に「経由地」を追加することによって、探したルートを修正することができます。詳しくは20ページをご覧ください。

手順を省略するには

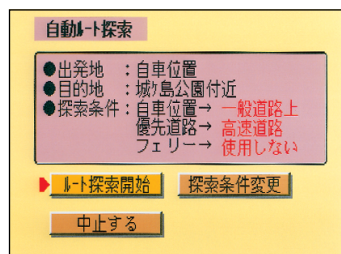
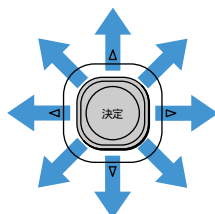
地図画面上で、+マークが目的地に合っているとき、目的地ボタンを2秒以上押すと、その場所が目的地として設定され、手順4の画面になります。

警告

本機の道案内を使用して運転をする場合でも、実際の交通法規(一方通行、進入禁止など)を必ず守ってください。

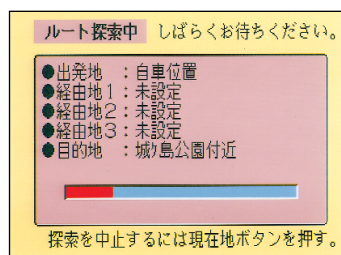
4 ジョイスティックで「ルート探索開始」に▶をあわせる

必ず画面上の探索条件を確認してください。



5 決定ボタンを押す

ルートを探し始めます。探索が終わると地図画面に戻り、黄色い破線で参考ルートが表示されます。音声と表示で道案内の開始をお知らせします。



道案内が始まります

道案内を終わらせるには

ガイドボタンを押します。

再び始めるには、もう1度ガイドボタンを押します。

電源を切るには

モニターのパワーボタンを押します。

お手持ちのモニターを接続している場合は、リモコン受光部のPOWERボタンを押すか、車のキーの位置をOFFにしてください。

ルートガイド 道案内の流れ

道案内が始まったら

ルートの表示は現在地から一番近い交差点から始まります。



ルートに乗ってからは

目的地に向かって、音声、矢印と交差点拡大表示で曲がる方向を案内するルートガイドが行われます。音声の案内について詳しくは「音声ガイド一覧」(19ページ)をご覧ください。



ルートから外れてしまったとき

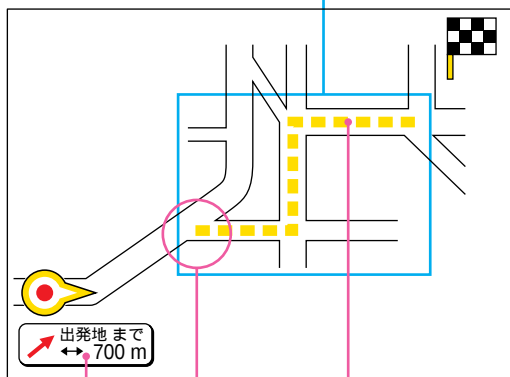
ルートガイド中に自車がルートから大きく外れると、その場所からルートに復帰するまでのルートを探して表示できます(リルート機能、18ページ)。



目的地付近に到着すると

目的地に一番近い交差点に到着すると、音声によりルートガイドの終了をお知らせします。

ルートに乗ってからは、
音声、矢印と交差点拡大
表示によるルートガイド



ルート表示(黄色の破線)

最初の交差点

最初の交差点までの直線距離

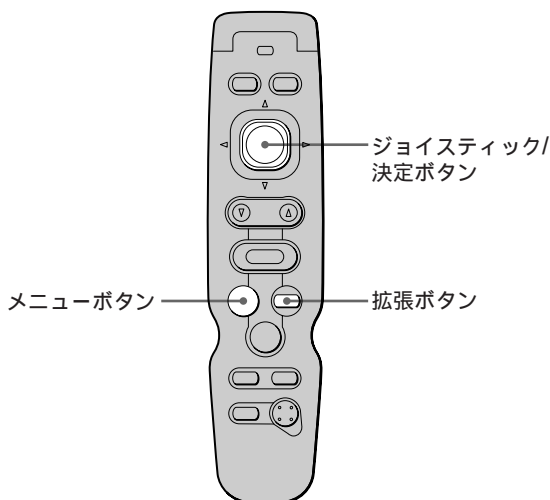
トンネルに入っても

道案内途中にトンネルなどで衛星電波の受信がさえぎられても、本機は自律航法ユニットを接続していますので測位が可能です。

メニューの選びかた

本機のほとんどの操作はメニューを使って行います。

メニューの選びかたを一度覚えると、本機のほとんどの操作ができます。



ちょっと一言

現在地ボタンを押すと、メニュー画面から地図画面へ簡単に戻れます。

地図画面でメニューボタンを2秒以上押すと、前回選んだメニューが表示されます。

ルートガイドを使いこなす

メニューを選ぶ

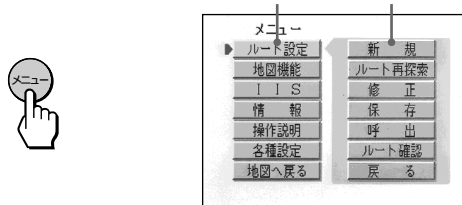
メニューの選びかたは、ジョイスティックで▶を合わせて、決定ボタンを押すだけです。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

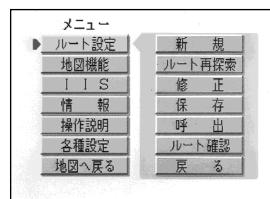
右側には▶のある項目で設定する項目 (サブメニュー) が表示されています。

メインメニュー サブメニュー



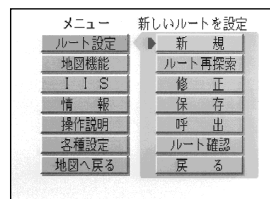
拡張メニュー画面にするには、拡張ボタンを押します。くわしくは40ページをご覧ください。

2 ジョイスティックを上下に動かして、必要な項目に▶を合わせる



3 決定ボタンを押す (またはジョイスティックを右に動かす)

▶がサブメニュー (右) に移動します。



ジョイスティックを左に動かすと、メインメニューに戻ります。

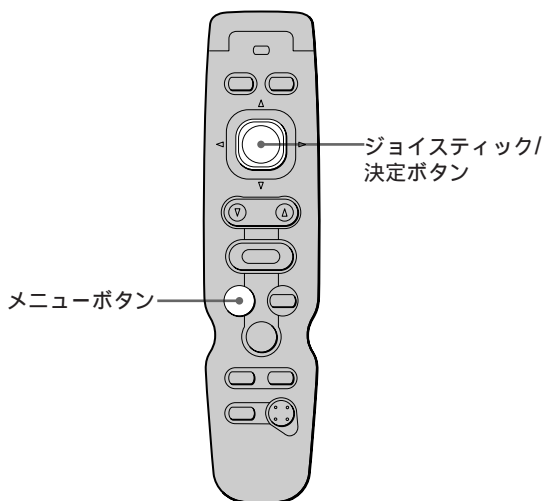
4 サブメニューの必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

それぞれの機能画面になります。

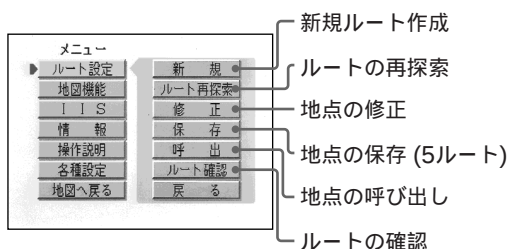
ルートガイドを使いこなす

友人との待ち合わせ場所などを「出発地」にして、途中で立ち寄りたい場所を「経由地」に設定しておく、計画に沿ったルートでドライブを楽しむことができます。

「ルート設定」メニューでは、さらに設定したルートの修正、保存と呼び出し、ルートの確認ができます。



ルート設定に関する操作は、「ルート設定」メニューにまとめられています。走行中には操作できません。



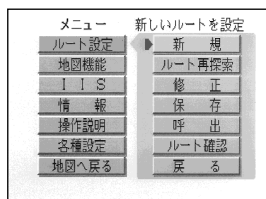
ルートガイドを使いこなす

出発地や経由地を任意に設定してルートを探す

はじめに「出発地」、「経由地」、「目的地」を順に設定して、新規ルートを表示させてみましょう。

1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



3 「新規」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

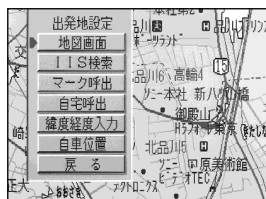
「地点設定」画面になります。

目的地設定が選択された状態で、出発地だけが「自車位置」になっています。



4 「出発地」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

出発地の設定方法を選ぶ画面になります。



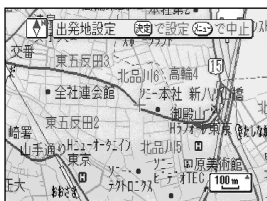
次のページへつづく

ルートガイドを使いこなす

5 「地図画面」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

他の設定方法については「より早く目的地を探す」(24ページ)をご覧ください。

6 ジョイスティックで+マークを出発地に合わせる

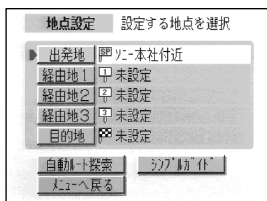


見たい場所をより早く探すには最初に広域な地図でおおよその位置を探し、次にズームボタンでより詳細な地図を選びます。

7 決定ボタンを押す

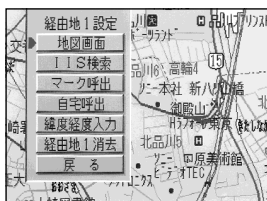
+マークが旗マークに変わり、出発地が設定されます。そのあと、出発地が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

「○○付近」を出発地に設定しました。



8 「経由地1」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

経由地の設定方法を選ぶ画面になります。



9 手順5～7を行う

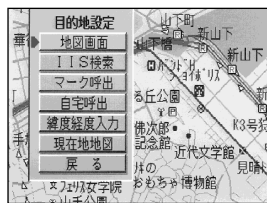
+マークが旗マークに変わり、経由地1が設定されます。そのあと、経由地1が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

経由地は3地点まで設定できます。

「経由地2」、「経由地3」を設定する場合は、「経由地2」、「経由地3」に▶を合わせて決定ボタンを押し、手順5～7を繰り返します。

10 「目的地」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

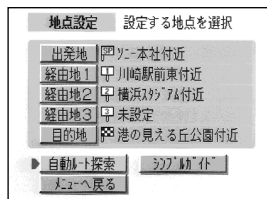
目的地の設定方法を選ぶ画面になります。



11 手順5～7を行う

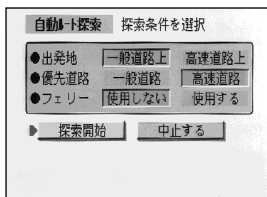
+マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。そのあと、目的地が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

12 「自動ルート探索」に▶を合わせる



13 決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。



現在選択されている項目を変更する場合は、ジョイスティックで項目を選び、決定ボタンを押してください。

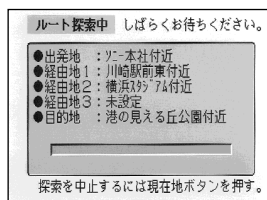
出発地：探索を開始する地点が高速道路上にある場合は、「高速道路上」に設定してください。

優先道路：高速道路を優先してルートを表示させる場合は、「高速道路」に設定してください。

フェリー：フェリーを使う場合は「使用する」、使わない場合は「使用しない」に設定してください。

14 「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

自動ルート探索が始まり、ルート探索完了後、地図画面にルートが表示されます。



ちょっと一言

- 出発地、経由地、目的地は、どの順序で設定することもできます。
- 複数の経由地を設定した場合は、経由地1、経由地2、経由地3の順にルート探索が行われます。

ご注意

次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されます。

- 自動経路探索機能に対応した地図ディスクを使用していない。
- 目的地が設定されていない。
- 目的地が遠すぎて自動経路探索機能が働かない。
- 目的地がディスクの自動経路探索機能のデータ範囲外にある。

地図ディスクの経路探索データについて

地図ディスクの経路探索データは、基本的には道幅5.5m以下の細い道路に対するデータは含まれていません(道幅5.5m以上であっても住宅地や商店街を通りぬける道路に対するデータは含まれていません)。

また、一方通行や右/左折禁止の規制やフェリー航路のデータは入っていますが、次のようなデータは含まれていない場合があります。

例：

- 最新の規制
- 道路工事による通行止めや進入禁止
- 慢性的な渋滞の情報
- 就航数の少ないフェリー航路

詳しくは地図ディスク製作会社にお問い合わせください。

ルートについて

ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。出発地/経由地/目的地がこの道路上にない場合は、その周辺にある経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ出発地/経由地/目的地として探索されます。

例えば、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に目的地を設定すると、目的地のすぐ近辺まではルートが表示されない場合があります。同じように出発地においても、現在地のすぐ近くから参考ルートが始まらない場合もあります。

また、ルートは基本的に同一路線(同じ番号を持つ国道や高速道路)を続けて走行できるように探索をするので、便利なバイパスや抜け道を表示しないことがあります。そのため、ルートが遠回りになる場合があります。

さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

ルートガイド中の便利な機能

矢印ガイド

「ルートガイドの設定」(35ページ)で矢印ガイドの設定をONにしておくと、ルートガイド中、次に向かうガイドポイント上に進行方向が矢印で表示されます。

リルート機能

「ルートガイドの設定」(35ページ)でリルートの設定をONにしておくと、ルートガイド中、自車がルートから大きく外れたときに、ルートに戻る道を探索して表示できます。

リルート機能選択画面で「はい」を選んで決定ボタンを押すと、リルート機能が働きます。

ルートから極端に外れた場合は、「ルートへ戻る距離が遠いためリルートできません」というメッセージが表示され、リルートはされません。目的地までの新しいルートが知りたいときは、車を安全な場所に停車させて、ルート再探索を行ってください(くわしくは「ルートを探しなおす」20ページをご覧ください)。

交差点拡大機能

「ルートガイドの設定」(35ページ)で交差点拡大の設定をONにしておくと、ガイドポイントが近づいたときに交差点の拡大図が表示されます。交差点拡大図では、交差点への進入方向が上になるように、交差点の詳細図と進行方向が表示されます。(10ページをご覧ください。)
目印になる建物などのマークや交差点名が記録された地図ディスクを使うと、それらが交差点拡大図にも表示されます。

ルートガイド中のボタン操作

ルートガイド中に次の操作ボタンを押すと、設定地点やガイドポイントまでの走行距離など、さまざまな情報を確認することができます。

ボタン名	画面表示	音声ガイド
決定ボタン	緯度経度表示	現在地の地名
ジョイスティックで+マークを移動後、決定ボタン	+マーク位置の緯度経度表示	+位置の地名
現在地ボタン	次のガイドポイントまでの走行距離 交差点拡大図	次のガイドポイントまでの走行距離
現在地ボタン (2秒以上押す)	—	現在時刻
目的地ボタン	目的地までの走行距離	目的地までの走行距離

ルートガイドの終了

ルートガイド中にガイドボタンを押すと、ルートガイドが終了します。

音声ガイド一覧

「ルートガイドの設定」(35ページ)で音声ガイドの設定をONにしておくと、ルートガイド中、次に向かうガイドポイント(経由地、交差点など)までの道のりなどをアラーム音(🔔)と音声で知らせます。

ルートガイド開始時/終了時

例) 🔔+「ルートガイドを開始します」

ガイドポイントまでの距離と種類

ガイドポイントに近づくと、ガイドポイントまでの距離と種類を知らせます。

例) 🔔+「2キロメートル先、経由地1付近です」

ガイドポイントでの進行方向

ガイドポイントでの進行方向(「直進です」「右方向です」「ななめ右です」「大きく右です」「左方向です」「ななめ左です」「大きく左です」「Uターンです」)を案内します。

例) 🔔+「2キロメートル先、ガイドポイント、右方向です」

ガイドポイントの交差点名称

交差点名称のデータが収録されている地図ディスクをお使いになると、名称データのある交差点では音声で交差点名を案内します。名称データのない交差点では「ガイドポイント」と案内されます。

例) 🔔+「2キロメートル先、八丁堀交差点、右方向です」

高速道路の入口/出口

例) 🔔+「2キロメートル先、高速道路入口です」

フェリーターミナル

例) 🔔+「2キロメートル先、フェリーターミナルです」

ガイドポイント通過と、次のガイドポイントまでの距離のお知らせ

ルートに沿ってガイドポイントを通過すると、通過時の確認をアラーム音で知らせます。また、ガイドポイント通過後に、現在地ボタンを押すと次のガイドポイントまでの距離を画面表示と音声で知らせます。

例) 🔔+「次のガイドポイントまで、10キロメートルです」

経由地/目的地など設定地点への到着

例) 🔔+「目的地付近に到着しました」

地図ディスクについて

以下の地図ディスクをお使いになると、ルートガイドや、交差点拡大機能などを利用することができます。

「ナビソフトドライブマップ 全国版 IV」
(株)ゼンリン

地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

お使いになる地図ディスクによっては、「自動ルート探索機能」「ルートガイド機能」や「交差点拡大表示」「交差点名案内」などの機能がご利用になれない場合があります。

ご注意

自動経路探索対応の地域別地図ディスクをお使いになると、経路データが収録されている地図エリアの端付近で自動ルート探索を行うと、目的地までのルートが見つからない場合があります。

このような地域で自動ルート探索を行う場合、自動経路探索対応の全国版地図ディスクをお使いください。

マップマッチングについて

マップマッチングは、マップマッチング用の道路データが収録された地図ディスクをお使いになっている場合のみ働きます。マップマッチングに対応していない地図ディスクをお使いになっている場合には、画面の左上にマップマッチングエラーシンボルが表示され、マップマッチングは働きません。



マップマッチングエラーシンボル

また、マップマッチングに対応した地図ディスクをお使いになっていても、マップマッチング用の道路データが収録されていない地域に自車位置がある場合には、マップマッチングは働きません。

ディスク情報について

お使いになっている地図ディスクが対応している機能を知りたいときは、メニューの「ディスク情報」をご覧ください。詳しくは、「地図ディスクの種類などを見る」(33ページ)をご覧ください。

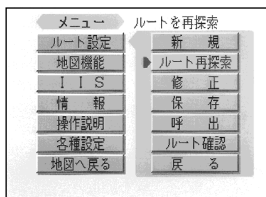
ルートを探しなおす (ルート再探索)

ドライブの途中でルートガイドを中止しても、経由地や目的地の設定を変更せずに、現在位置から改めてルートを探することができます。

1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

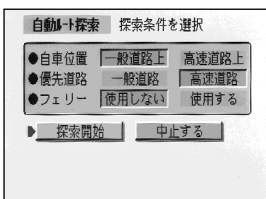
3 「ルート再探索」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になり、▶が「探索開始」位置にあります。

探索条件を確認してください。



5 決定ボタンを押す

自動ルート探索が始まります。

ご注意

- ルートの再探索は、出発地が「自車位置」に設定してあるときに、自車位置から目的地までの新しいルートを探します。出発地が「自車位置」以外に設定してあると、これまでのルートと同じルートしか表示されません。出発地が「自車位置」以外に設定してあるときは、右の「設定した地点を修正する」で出発地を「自車位置」に修正し、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。
- 「ルート再探索」は、設定されている地点、探索条件にもとづいて再計算を行います。ルートガイドの途中でルート再探索を行った場合、すでに通過してしまった経由地なども探索計算に含まれますのでご注意ください。このような場合は、右の「設定した地点を修正する」で通過してしまった地点を消去して、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。

設定した地点を修正する

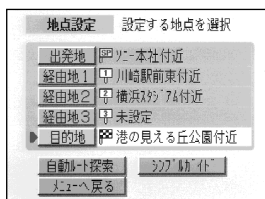
ルートを修正するには、ルートの基準になっている経由地などの各地点の設定内容を変更します。改めて自動ルート探索を行うと、ルートが変更されます。

1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

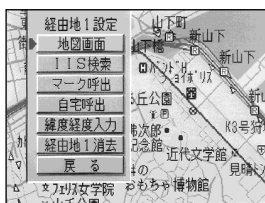
3 「修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

修正地点を選択する画面になります。



4 修正したい地点を選択し、決定ボタンを押す

例えば「経由地1」を選択した場合、次のような画面になります。



5 「地図画面」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地点を消去したい場合は、「経由地1消去」を選びます。

他の選択方法については「より早く目的地を探す」(24ページ)をご覧ください。

設定した地点を保存する

出発地、経由地、目的地の地点をまとめて保存できます。

6 ジョイスティックで+マークを設定したい地点に合わせて、決定ボタンを押す

+マークが旗マークに変わり、地点が設定されます。そのあと、地点が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

7 「自動ルート探索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

修正した地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

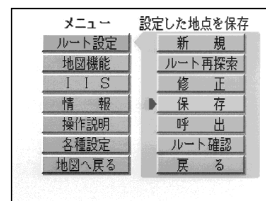
ちょっと一言

1つの経由地を消去しても、他の経由地を設定し直す必要はありません。自動ルート探索は、消去した経由地を除いて消去前と同じ順序で行われます。

1 メニューボタンを押す

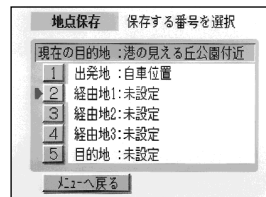
2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「保存」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

保存番号を選択する画面になります。



5 保存番号 (1 ~ 5) を選び、決定ボタンを押す

ご注意

すでに地点が保存されている番号を選んで決定ボタンを押すと、前に保存されていた内容は消去されます。参考ルートの表示(黄色の破線)は保存されません。

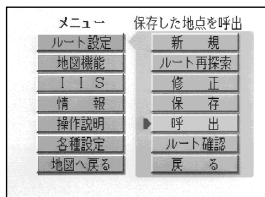
保存した地点を呼び出す

ルートを再び表示させるには、出発地、経由地、目的地のデータをまとめて呼び出し、改めて自動ルート探索を行います。

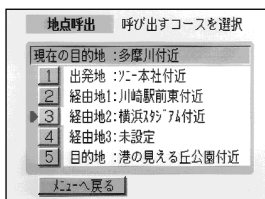
1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「呼出」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す



5 呼出番号 (1～5) を選び、決定ボタンを押す

地点設定の画面になります。

6 「自動ルート探索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

(呼び出されたルートには以前の探索条件は保存されていません。探索条件を確認してから探索を開始してください。)

「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押してください。

呼び出された地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

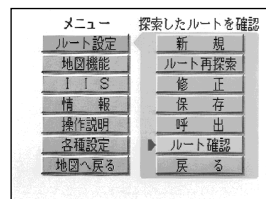
ルートをひと通り見てみる

自動ルート探索で地図画面にルートを表示させたあと、ルートに沿って自車マークを進めて画面上でルートを確認することができます。

1 メニューボタンを押す

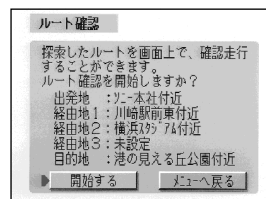
2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ルート確認」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

ルート確認の画面になります。



中止するときは、「メニューへ戻る」を選んで決定ボタンを押してください。

5 「開始する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

ルート確認を始めます。

ルート確認を終了するには

再度メニューボタンを押し、「ルート設定」画面から「ルート確認」画面を選び、「終了する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

直線距離・方向だけの道案内をさせる

ルート探索を行わずに、ルート設定した各地点までの直線距離と方向を順番に表示して道案内をさせることができます。(シンプルガイド)

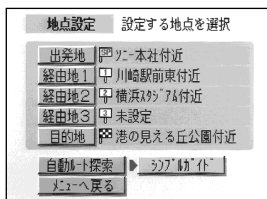
1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「新規」または「修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「新規」を選んだ場合は、目的地や経由地を設定してください。

4 「シンプルガイド」に▶を合わせる



5 決定ボタンを押す

地図画面になり、シンプルガイドを始めます。

車の進行方向に合わせて、地図は自動的に回転します。



経由地までの直線距離

↔は直線距離であることを表します。

通常のルートガイド中は道のりを表示します。

経由地1に着くと、次に設定された経由地2までのシンプルガイドを始め、順に目的地までの道案内をします。

行き先を変更するには

シンプルガイド中に、ガイドボタンを繰り返し押します。

ボタンを押すたびに、経由地1→経由地2→経由地3→目的地と行き先が変更されます。

シンプルガイドを中止するには

シンプルガイド中に、ガイドボタンを繰り返し押して「終了」を選びます。

ガイドボタンを押す回数は、設定している地点の数によって異なります。例えば出発地と目的地のみの設定では、「出発地までの距離」→「目的地までの距離」→「終了」と切り換わります。

シンプルガイド中の便利な機能

自転車位置で決定ボタンを押すと

現在地の地名を知らせます。

「○○付近です」

目的地ボタンを押すと

目的地までの直線距離を知らせます。

「目的地付近まで、直線距離○○キロメートルです」

設定地点に向かうと

「経由地1付近まで、直線距離○○キロです」

設定地点が近づく

◀+「1キロメートル先、経由地1付近です」(高速走行時)

◀+「300メートル先、経由地1付近です」(低速走行時)

目的地に着くと

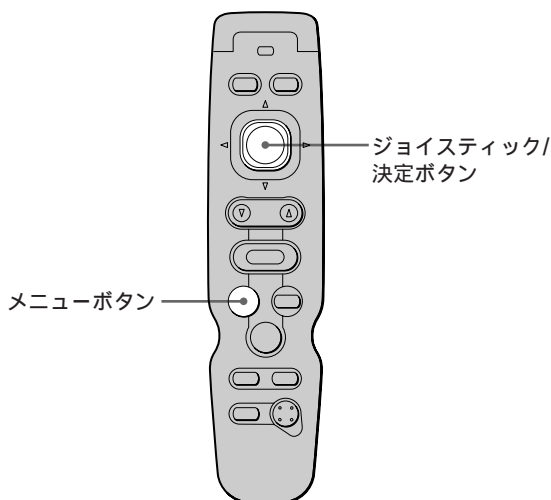
「シンプルガイドを終了します」

ご注意

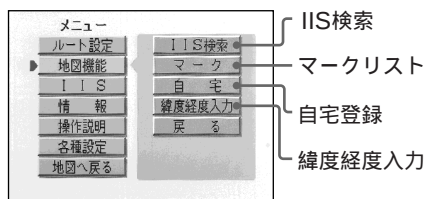
シンプルガイド中は、交差点拡大機能や矢印ガイドなどの機能は働きません。

より早く目的地を探す

自宅の場所を地図に登録しておいたり、よく行く場所に目印のマークをつけておいたりすれば、その場所の地図を早く呼び出すことができます。また、地図ディスクによっては、地名などを入力して、その場所の地図を表示することもできます。



目的地を探したり、マークに関する操作は、「地図機能」メニューにまとめられています。



より早く目的地を探す

地名などから場所を探す

「地図機能」画面から「IIS検索」を選択すると、地図ディスクのIIS (Integrated Information Services : ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラム) の検索メニュー画面を直接表示させることができます。

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「IIS検索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

IIS機能の検索メニュー画面になります。

お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

IISを終了するには

現在地ボタンを押します。

ご注意

ディスクによってはIISが検索機能に対応していないものがあります。その場合は、IISのオープニング画面が表示されます。

マークをつけておく

ドライブ中に見つけたレストラン、景色のよかった場所、抜け道の入り口、友人の家など覚えておきたい場所を、地図にマークをつけて登録できます。(100か所までマークをつけることができます。)

マークをつけた場所は、地図ディスクを入れ換えた場合でもそのまま表示されます。



マークをつけた場所付近の地名や建物の名前、または緯度/経度

1 マークをつける場所を探し、+マークを合わせる

2 マークボタンを押す

+マークがMマークに変わり、マークがつきます。



マークをつけた地点はマークリストに自動的に登録されます。

ドライブ中に気に入った場所や店があったらマークボタンを押すと、自転車マークの位置にマークをつけることができます。

マークを消す

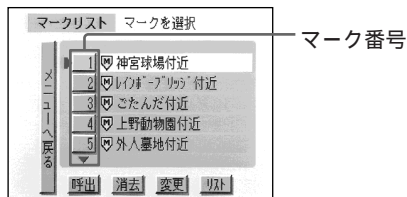
地図画面から「マークリスト」画面にするには消去したいマークのある位置に+マークを合わせ、Mマークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順5から操作できます。)

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「マークリスト」画面になります。



4 消去したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す

誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 「消去」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

マークがリストから消去されます。

6 「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

マークの種類を変更する

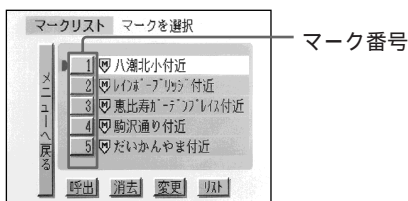
登録した場所のマークを目的別にいろいろなシンボルにして、オリジナルの地図を作ることができます。

地図画面から「マークリスト」画面にするには変更したいマークのある位置に＋マークを合わせ、マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順5から操作できます。)

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」にを合わせて、決定ボタンを押す

3 「マーク」にを合わせて、決定ボタンを押す

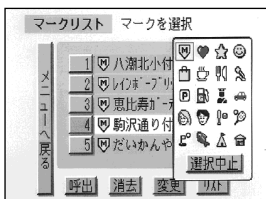


4 変更したいマーク番号にを合わせて、決定ボタンを押す

誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」にを合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 「変更」にを合わせて、決定ボタンを押す

シンボルリストが表示されます。



6 変更するシンボルにを合わせて、決定ボタンを押す

マークが新しいシンボルに変わります。

7 「メニューへ戻る」にを合わせて、決定ボタンを押す

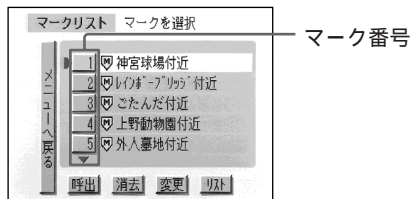
マークをつけた位置を呼び出す

登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を見ることができます。

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」にを合わせて、決定ボタンを押す

3 「マーク」にを合わせて、決定ボタンを押す



4 表示したいマーク番号にを合わせて、決定ボタンを押す

誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」にを合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 「呼出」にを合わせて、決定ボタンを押す

選んだマーク位置の地図が表示されます。

ルート設定時は設定方法を選択する画面で「マーク呼出」を選び、同様に操作します。

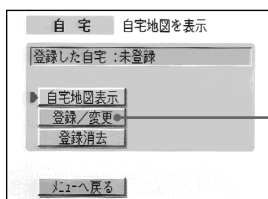
自宅を地図に登録しておく

自宅を登録しておくと、出発地や目的地の設定が簡単にできます。例えば目的地選択画面で「自宅呼出」を選べば、自宅に帰るルートを探すことができます。

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



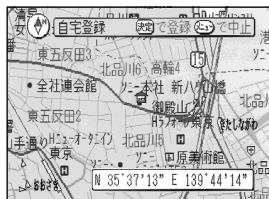
登録/変更

4 「登録/変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面になります。

5 ジョイスティックで+マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す

+マークが自宅マークに変わり、自宅が設定されます。そのあと、自宅が新たに設定された「自宅」画面に戻ります。



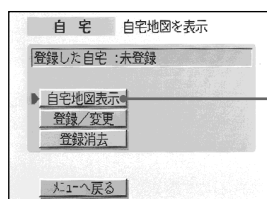
6 「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

自宅地図を表示する

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



自宅地図表示

4 「自宅地図表示」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

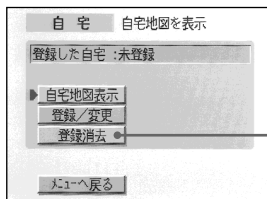
自宅付近の地図画面になります。

登録した自宅を消す

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



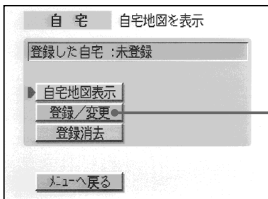
登録消去

4 「登録消去」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

登録した自宅が未設定に戻ります。

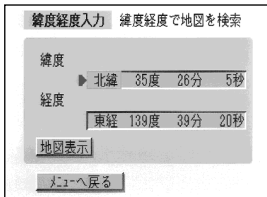
緯度経度から場所を探す

登録した自宅を変更する

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

- 4 「登録/変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
 地図画面になります。
- 5 ジョイスティックで+マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す
 +マークが自宅マークに変わり、自宅が新たに設定されます。そのあと、自宅が変更された「自宅」画面に戻ります。
- 6 「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

緯度経度を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。

例えば、本機を取り付けている何台かの車でドライブするときに、目的地などの緯度/経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「緯度経度入力」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
 「緯度経度入力」画面になります。

- 4 「緯度」または「経度」の設定したい項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す
 数値が入力できる状態になります。
- 5 ジョイスティックを上下に動かして数値を設定し、決定ボタンを押す
- 6 「地図表示」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
 入力した場所の地図が表示されます。

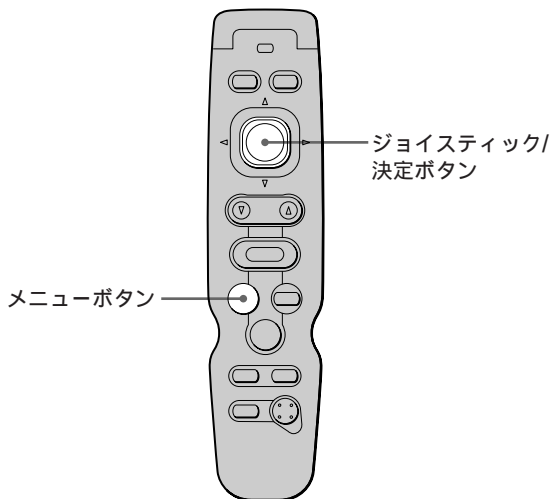
ルート設定時は

設定方法を選択する画面で「緯度経度入力」を選び、同様に操作します。

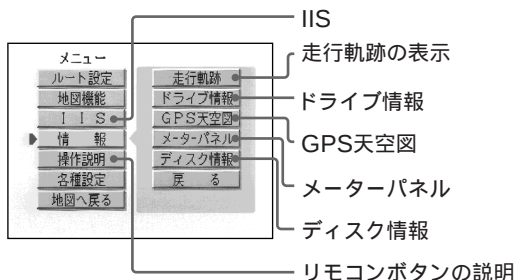
いろいろな情報を見る

メニューボタンを押して「情報」メニューを選ぶと、ドライブ中に近くの施設の情報を見たり、現在地の詳しいデータを知ることができます。

「操作説明」メニューを選ぶと、リモコンの各ボタンの働きを確かめることができます。



ドライブ中にいろいろな情報を見る操作は、「IIS」と「情報」メニューにまとめられています。



いろいろな情報を見る

地図ディスクに収録されている情報 (IIS)

IIS (Integrated Information Services) とはナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラムのことです。これから向かう場所の情報や、地図ディスクに入っている情報提供のプログラムを見ることができます。詳しくは「用語集」(53ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンを押す

メインメニュー画面になります。

2 「IIS」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

3 IISを終了するには、現在地ボタンを押す

いろいろな情報を見る

走行軌跡を表示する

走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく白い点のことです。



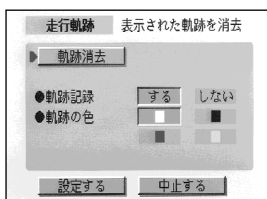
走行軌跡

画面に表示されている軌跡をすべて消去できます。また、走行軌跡の記録をしないで、画面に軌跡を表示しない設定も可能です。

走行軌跡を消す

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「走行軌跡」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「走行軌跡」画面になります。



- 4 • 画面上の走行軌跡を消すとき

「軌跡消去」を選び、決定ボタンを押す

- 走行軌跡を表示しないとき

軌跡記録の「しない」を選び、決定ボタンを押す

- 5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

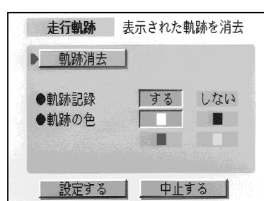
ちょっと一言

走行軌跡の表示は1000ポイントまで記録されます。1000ポイントを越えると1ポイント目の軌跡から順に消えていきます。また、地図の縮尺に合わせて見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では軌跡の数は少なくなります。

走行軌跡の色を変える

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「走行軌跡」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「走行軌跡」画面になります。



- 4 軌跡の色 (白、黒、赤、黄) のいずれかに▶を合わせて、決定ボタンを押す

- 5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

ドライブ情報 (施設や観光情報など)

ドライブ中に周辺の施設などの情報を知りたいときは、以下の操作を行ってください。地図上でドライブ情報のシンボルが表示されているときは、そのシンボルが示す情報を見ることができます。

1 シンボルに+マークを合わせる

表示する情報を選ぶ画面になります。



ドライブ情報がある場所には、シンボルが表示されています。

2 ㊦のマークに変わったら、決定ボタンを押す

ドライブ情報、またはIIS (情報提供プログラム) の画面になります。

地図画面に戻るには
現在地ボタンを押します。

ドライブ情報の文章が途中までしか表示されていないとき

ジョイスティックを上下方向に動かすと、情報の続きを見ることができます。

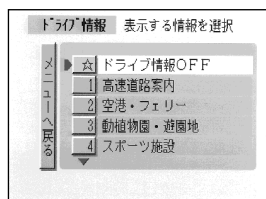
地図画面に表示するドライブ情報を設定するには

1 メニューボタンを押す

2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ドライブ情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

表示する情報を選ぶ画面になります。



「メニューへ戻る」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、メニューに戻ります。

4 表示したい情報に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

表示しない場合は、「ドライブ情報OFF」に▶を合わせて、決定ボタンを押してください。

ご注意

- 地図ディスクによっては、ドライブ情報が収録されていないものもあります。
- シンボル表示やその内容は、地図ディスクによって異なります。
- ドライブ情報がない縮尺の地図もあります。お使いになる地図ディスクによって異なりますが、通常は詳細な地図にドライブ情報が収録されています。
- ドライブ情報がない地域もあります。

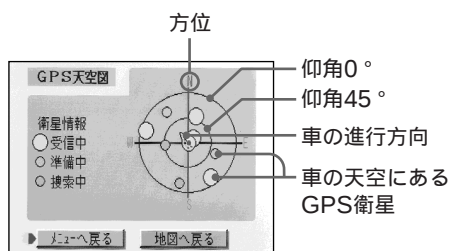
GPS衛星電波の受信状態を見る

ドライブ中に現在地が表示されないときや自動車マークが黒色のときなどに、以下の操作でGPS衛星の受信状態を確認してください。

1 メニューボタンを押す

2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「GPS天空図」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



GPS衛星は次の3段階で表示されます。

受信中：現在、電波を受信中のGPS衛星

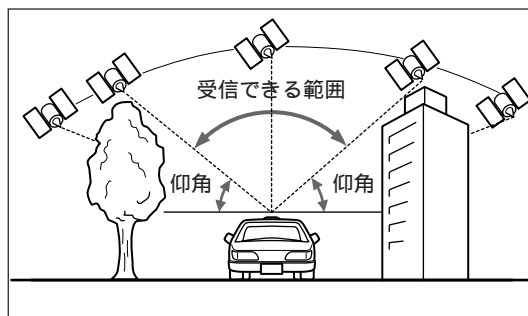
準備中：測位を計算するための準備段階にあるGPS衛星

探索中：障害物などで電波を受信できないGPS衛星

自動車マークから離れて表示されているGPS衛星ほど、障害物の影響を受けやすくなります。

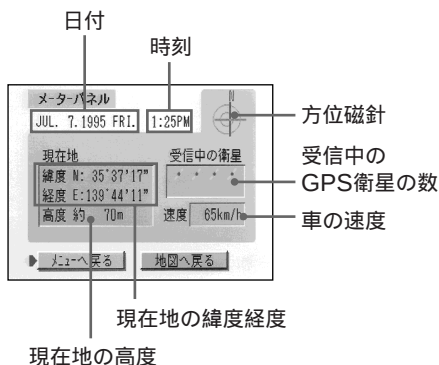
4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

GPS衛星が地平線近くに位置しているときGPS衛星は周回衛星なので、本機のGPSアンテナから見て水平に近い角度(低仰角)に位置することがあります。このようなときは特に障害物の影響を受けやすく、電波を正常に受信できなくなります。



車の速度などの情報を見る

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「メーターパネル」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



ご注意

現在地の高度はおおよその値です。



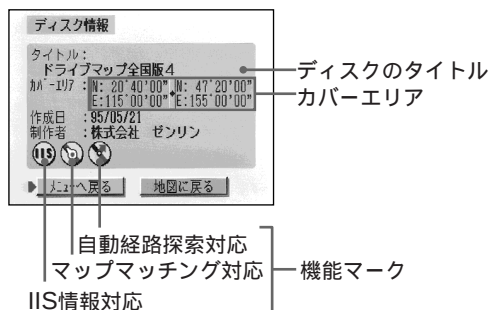
地図カラー自動切り換え対応:

地図カラー自動切り換え機能に対応したディスクです。くわしくは「システムの設定」(37ページ)をご覧ください。

地図ディスクの種類などを見る

お使いになっている地図ディスクのカバーエリア(収録されている地図の範囲)やディスクのタイトルなどを見ることができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「ディスク情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



ディスクの機能マークについて



自動経路探索対応:
自動ルート探索が可能です。



マップマッチング対応:
付属の自律航法ユニットを接続したときにマップマッチング機能が働きます。くわしくは「マップマッチングについて」(19ページ)および「用語集」(53ページ)をご覧ください。



IIS情報対応:
IIS情報(29ページ)が収録されています。



ATIS情報対応:
別売りのATISユニットXA-160AまたはXA-165Aを接続したときにATIS機能が働きます。くわしくはATISユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

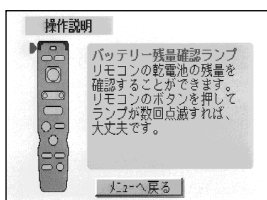
リモコンボタンの説明

リモコンボタンの操作説明がわからないときは、画面で各ボタンについての説明を見ることができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 「操作説明」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



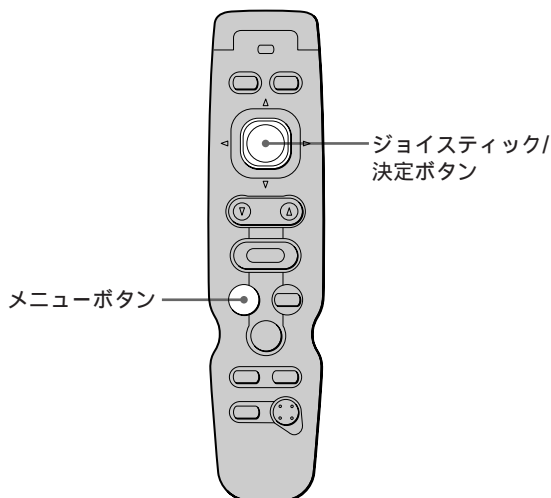
3 説明を見たいボタンに▶を合わせる

選んだボタンの説明が表示されます。

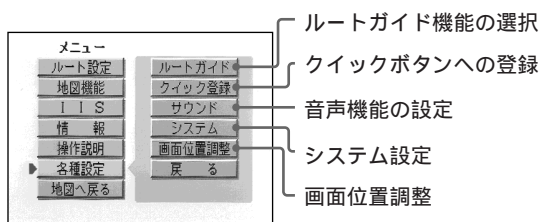
4 「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

設定と調整

メニューボタンを押して「各種設定」メニューを選ぶと、本機の表示や音声などの内容をお買い上げ時の設定から変更することができます。



本機の各機能のON/OFFや設定操作は、「各種設定」メニューにまとめられています。



設定と調整

ルートガイドの設定

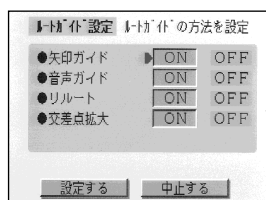
ルートガイド時の働きを設定します。それぞれ「OFF」を選んで決定ボタンを押すと、省略することができます。

1 メニューボタンを押す

2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ルートガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

ルートガイド中の機能が表示されます。



矢印ガイド：ガイドポイント(交差点)での進行方向を示す矢印のON/OFF

音声ガイド：アラーム音と音声ガイドのON/OFF

リルート：ルートを外れたときにルートに戻るガイドを行う機能のON/OFF

交差点拡大：交差点にさしかかったときに交差点の拡大画面を表示する機能のON/OFF

4 必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

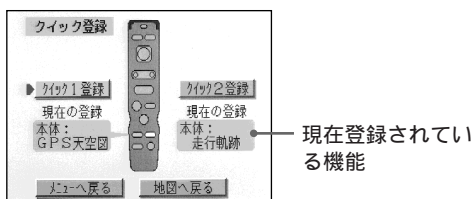
よく使う機能をクイックボタンに割り当てる

よく使うメニュー項目をクイックボタンに登録すると、メニューから選ぶ操作を省略できます。

1 メニューボタンを押す

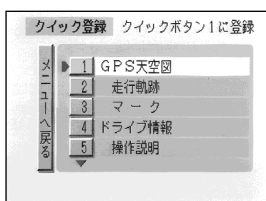
2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「クイック登録」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



4 「クイック1登録」または「クイック2登録」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

5 登録する機能に▶を合わせて、決定ボタンを押す



設定を中止するには、「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

登録し直すと、手順3の画面に戻ります。

6 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

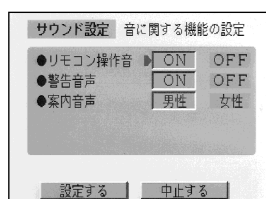
音声の設定

操作時やルートガイド中の音声の動きを設定します。

1 メニューボタンを押す

2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「サウンド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



リモコン操作音：ボタン操作時の確認音のON/OFF

警告音声：本機を作動させたときに外部入力に切り換わっていることを知らせるメッセージなど、さまざまな警告音声のON/OFF

案内音声*：音声の選択

4 必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す。

5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

* 案内音声は音声合成技術によって作られています。くわしくは用語集(53ページ)をご覧ください。

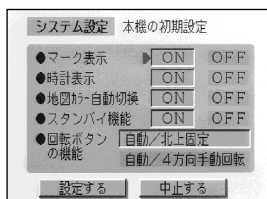
システムの設定

本機のシステム上の初期設定を変更できます。
マークを表示させないときや、地図回転ボタンの機能を変更するときに設定しなおしてください。

1 メニューボタンを押す

2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「システム」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



マーク表示：地図上のマーク表示のON/OFF

時計表示：画面の時計表示のON/OFF

地図カラー自動切替*1：画面の夜/昼モード自動切り換えのON/OFF

スタンバイ機能*2：自律航法ユニット接続時、モニターと本機の電源スイッチ連動設定のON/OFF (通常はOFF。ONに設定すると、モニター電源OFF時にも本機が動作します。)

回転ボタンの機能*3：回転ボタンの機能設定

4 必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

*1 地図カラーについて

地図のカラーは、日付、時刻、緯度経度などの条件により、大まかな夜/昼を本機が判断して切り換えます。地図カラー自動切り換え機能は、機能に対応したディスクをお使いになった場合のみ働きます。機能に対応していない地図ディスクをお使いの場合には、設定が「ON」でも地図カラーは切り換わりません。この場合、地図カラーは昼モードに固定されます。

ご注意

夜間に「地図カラー自動切替」をONに設定しなおしたときや、地図ディスクを入れ換えた場合、地図カラーが切り換わるまでしばらく時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

*2 スタンバイ機能について

スタンバイ機能とは、ナビシステム専用モニターXVM-G50、G60 (別売り) のPOWERボタン (お手持ちのモニターなどを接続して、リモコン受光部XA-180R (別売り) を使用している場合は、リモコン受光部のPOWERボタン) と本機の電源連動を設定するものです。

スタンバイ機能をONに設定しておく、次のようなときに便利です

通常、走行中に現在地表示が不要なときにモニターのPOWERボタン (リモコン受光部のPOWERボタン) を押して電源を切ると本機も停止します。しかし、スタンバイ機能をONに設定しておく、本機はスタンバイ状態で測位のみ動作しています。現在地表示が必要になった時にモニターのPOWERボタン (リモコン受光部のPOWERボタン) を押して電源を入れると、すぐに測位ができます。

ご注意

- お手持ちのモニターなどを接続して、リモコン受光部XA-180R (別売り) を使用している場合にも、スタンバイ機能の設定は有効ですが、お手持ちのモニターの電源ボタンと本機の電源は連動はしません。必ずリモコン受光部XA-180RのPOWERボタンで電源を入/切してください。
- スタンバイ状態ではリモコンボタンを押しても、本機は動作しません。再度モニターのPOWERボタン (リモコン受光部のPOWERボタン) を押して電源を入れてください。
- 一部の車ではキー位置に関係なく常に通電していますので、このような場合はバッテリー消耗を防ぐために、スタンバイ機能を必ずOFFにしてお使いください。

*3 回転ボタンの設定

「自動/北上固定」に設定すると

「システム設定」画面で「自動/北上固定」を選択すると、リモコンの回転ボタンで自動回転↔北上固定を切り換えることができます。

「自動/4方向手動回転」に設定すると

「システム設定」画面で「自動/4方向手動回転」を選択すると、リモコンの回転ボタンで自動回転→北上→東上→南上→西上→自動回転と切り換えることができます。

画面の位置を微調整する

この機能は、お手持ちのモニターを接続したときにおこる画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す
- 3 「画面位置調整」を選び、決定ボタンを押す
- 4 ジョイスティックを上下左右に動かして+位置を画面の中央に合わせ、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

メニュー画面に戻るにはメニューボタンを押します。

自車位置を修正する

フェリーなどで移動したあとに本機を使用すると、GPS衛星からの電波を受信するまで、自車マークが現在位置と一致しないことがあります。このような場合は、自車位置修正を行うことをおすすめします。

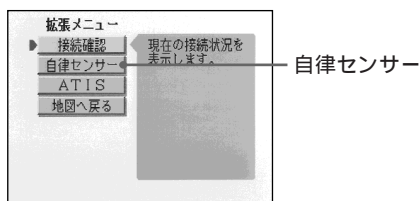
また実際に走行している道から、自車マークが大きくはずれて表示された場合や、本機の電源を切って走行したあと再び電源を入れた場合にも、自車位置を修正することをおすすめします。

ご注意

以下の操作は走行中に行うことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

1 拡張ボタンを押す

拡張機能メニュー画面になります。



2 「自律センサー」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「自車位置修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

自車位置修正画面になります。



自律航法ユニットの 接続を確認する

4 ジョイスティックで+マークを正しい自車位置に合わせ、決定ボタンを押す

自車マークは色が変わり、+マークの位置に表示されます。



5 ジョイスティックを左右に倒して自車マークの向きを進行方向に合わせ、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

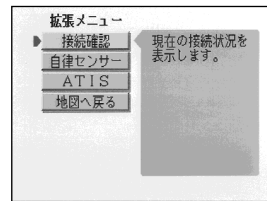
自車位置の修正を中止するには
現在地ボタンまたは拡張ボタンを押します。

自律航法ユニットが正しく動作していることを確認するには、センサー情報画面で次の操作を行ってください。

ご注意

- 確認項目が1つでも異常を示したときは、お買い上げ店に必ずご相談ください。
- 運転者が自律航法ユニットの接続確認を行うことは危険です。必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。

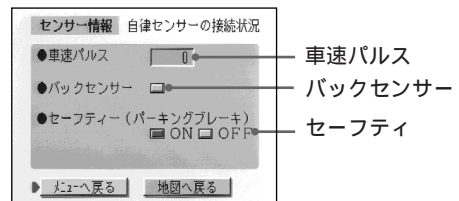
1 拡張ボタンを押す



2 「自律センサー」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「センサー情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

画面の確認は、必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。



車速パルス：この画面を表示した状態で車を安全な場所でゆっくり走らせて、数字が変化することを確認してください。

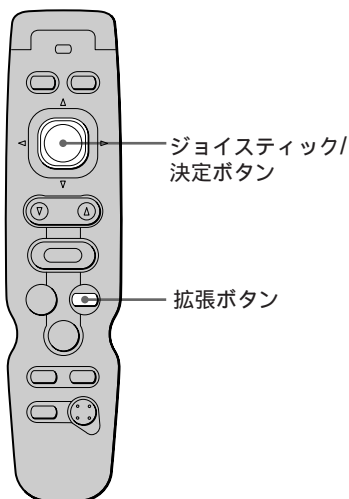
バックセンサー：シフトレバーがリバースの位置にあるときに、ランプが赤く点灯することを確認してください。

セーフティ：パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でON側のランプが赤く点灯していることを確認してください。

ご注意

確認のためのランプが点灯するまで数秒間かかる場合があります。

別売りの機器を 接続したとき



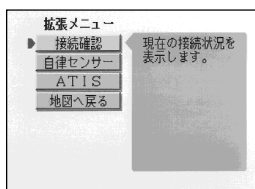
別売りの機器を接続したとき

拡張ユニットを使う

別売りのATISユニットなどの操作は拡張メニューで行います。

1 拡張ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。



画面は、自律航法ユニットとATISユニットを接続した状態です。

2 ジョイスティックで操作する拡張ユニット名に▶を合わせて、決定ボタンを押す

それぞれの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

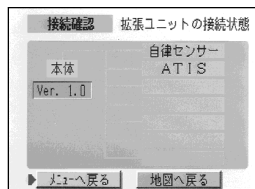
拡張ユニットの接続を確認する

現在接続されている拡張ユニットを確認することができます。

1 拡張ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。

2 「接続確認」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



画面の拡張ユニット名の背後の色が
黄色：
接続されている
灰色：
接続されていない

ちょっと一言

拡張ユニットの接続は起動時の画面でも確認できます。拡張ユニットが接続されていると以下のようなマークが表示されます。



自律航法ユニット
接続中



ATISユニット
接続中

テレビを見る

別売りのナビシステム専用TVチューナーユニットXT-50NVを接続すると、本機のモニターでテレビを見ることができます。また、音声はモニターに内蔵のスピーカーで聞くことができます。

安全運転のために

- テレビ画面は、パーキングブレーキを引いて車が停車中でないと見ることはできません。
テレビ画面のままパーキングブレーキを解除すると、自動的に地図画面に戻ります。テレビ音声はそのまま聞かれます。(オートサイマル機能)
車を停車させるとテレビ画面に戻ります。
- テレビ放送などを見るときは、安全な場所に停車してご覧ください。

1 外部入力ボタンを押す

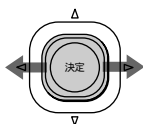
テレビ画面になり、モニターのAUXインジケーターが点灯します。

外部入力ボタンを押すたびに、画面が切り換わります。

→ 地図画面 → テレビ (ビデオ) →

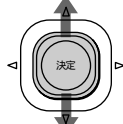
2 チャンネルを選ぶ

自動選局



受信できるチャンネルを自動的に探しながら選局します。

メモリー選局

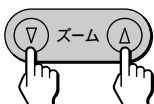


XT-50NVにメモリーされているテレビ局を順番に選局します。

ご注意

- メモリー選局はテレビ局をメモリーしていないと使えません。
- メモリーされているテレビ局でも、電波が弱いときは受信できません。

3 音量を調節する



下げる 上げる

調節のしかた

画面を見ながら、リモコンでボリュームをセンター付近に調節したあとモニターのVOLコントロールを調節して、適度な音量になるようにしてお使いください。

ズームボタンで音量を上げてても、音量が大きくなるときは、モニターのVOLコントロールで音量を上げてください。

地図画面に戻すには

外部入力ボタンを繰り返し押します。

テレビ画面の明るさを切り換えるには

ソニーナビシステム専用モニター (XVM-G50、G60) を接続している場合

回転 (明/暗) を2秒以上押します。

押すたびに、画面の明るさが2段階に切り換わります。

テレビ局をメモリーするには

テレビを見ているときにメニューボタンを2秒以上押します。

受信できるテレビ局を探して、低いチャンネルから12局まで自動的にメモリーします。(オートメモリー機能)

受信できるテレビ局が少ないときは、受信可能なテレビ局だけをメモリーします。

テレビの音声を聞きながら地図画面を見るには (サイマル機能)

テレビ画面で外部入力ボタンを2秒以上押します。

地図画面に戻ると自動的にサイマル機能が働きます。

サイマル機能を解除するには

地図画面で外部入力ボタンを2秒以上押します。

XT-50NVに接続したビデオの画面を見るには

テレビ画面のときにリモコンの目的地ボタンを押すと、ビデオ画面になります。

もう一度目的地ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。

ご注意

- サイマル機能中は、チャンネルは選べません。
- サイマル機能中でも地図ディスクの音声信号は出力されます。例えば、ルートガイド中に経由地などへの接近をしらせるアラーム音や音声は、サイマル機能中でも聞かれます。
- モニターのVIDEO INジャックにAVケーブルが差し込まれているときは、テレビを見ることはできません。テレビを見るには、AVケーブルをはずしてください。

誤差について

GPS衛星自体による誤差

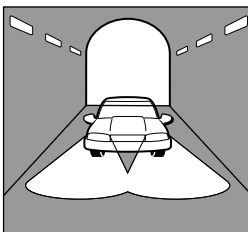
本機では、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位しますが、場合によっては約200メートルの誤差を生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測位精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。このような場合は、実際に走行している道と地図上での自車マークの位置が完全には一致なくなり、実際に走行している道とは異なる道路に自車マークが表示されることもあります。

* GPS衛星について、詳しくは「道案内の概要」(6ページ)と「用語集」(53ページ)をご覧ください。

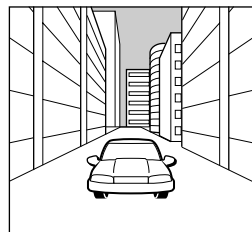
衛星からの電波が受信できないとき

GPS衛星からの電波がとどかないトンネルの中や地下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物がある場合では、実際の車の位置と自車マークがずれることがあります。

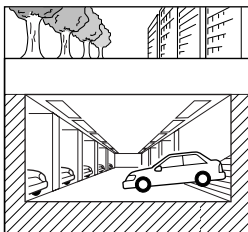
トンネルの中



高層ビルの間



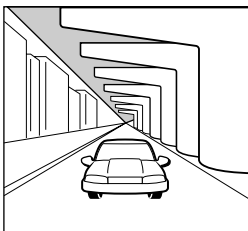
地下



密集した樹木の間



高架の下



誤差が大きくなるとき

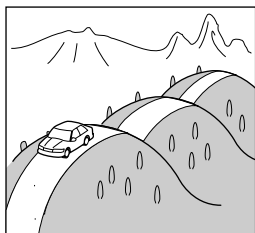
衛星からの電波が受信できないときでも、本機は自律航法とマップマッチングによって、誤差を小さく抑えることができます。

ただし、次のような状況では自律航法やマップマッチングが正しく働かず、誤差が大きくなることがあります。

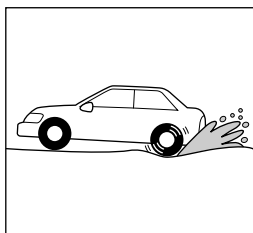
*「自律航法」「マップマッチング」については、詳しくは「用語集」(53ページ)をご覧ください。

走行状態が正しく測定できない

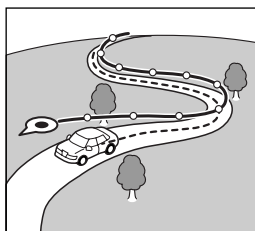
勾配の急な山道



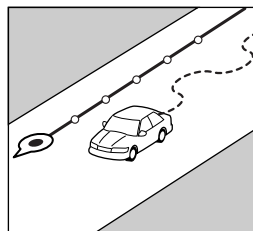
雪道や砂利道でのスリップ



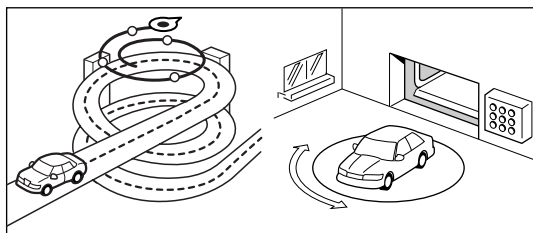
ヘアピンカーブ



蛇行運転

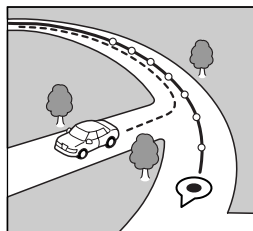


ループ橋やターンテーブルでの旋回

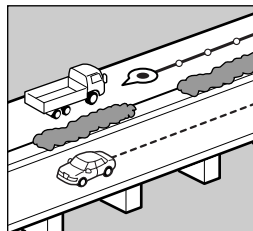


マップマッチングで自車マークが他の道路にのってしまう

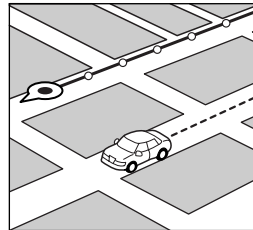
角度の小さなY字路



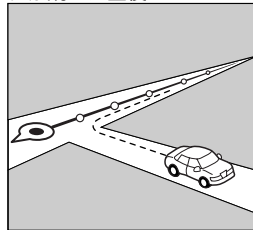
上り下り二車線の場合



並行している道がある

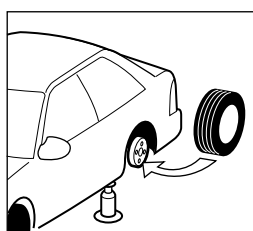


長い直線や緩やかなカーブが続いた直後



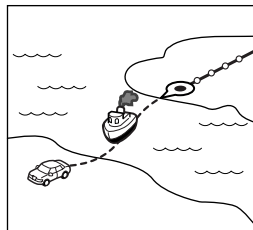
その他

タイヤやチェーンの交換後

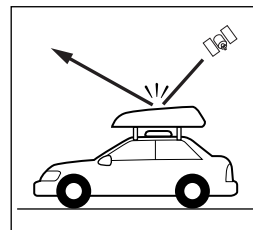


電源を切って走行したあとに電源を入れたとき

フェリーなどで移動したあと



GPSアンテナがルーフキャリアの下に設置してあるとき



その他

使用できる地図ディスクについて

誤差を小さくするために

30分間の走行を!

初めて本機を取り付けたときや、別の車に本機を付け換えたときなどに、画面に「初期化中」と表示され、しばらくのあいだ現在位置表示の誤差が大きくなることがあります。これは、車種によって異なる車速パルスの種類を自動的に算定したり、タイヤ径などによって生じる車速パルスの誤差を補正したりといった計算を行っているためで、故障ではありません。

「初期化中」の表示が消え、正常に動作するまでのあいだ、約30分間、GPS衛星からの電波を受信した状態で走行してください。

リセットボタンを押したあとや、自車マークが黒の状態でも電源を切って再び電源を入れたあとなども同様に操作してください。

5秒間の停車を!

車のキーをON位置にしてすぐに車を発進させると、自車マークが実際の走行方向と違う方向に進むことがあります。この場合、しばらく走行すると正しい位置に表示されますが、測位の精度を上げるためには、約5秒間停車することをおすすめします。

本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会のシンボルマーク（ナビ研）マークがついている地図ディスクをお使いください。

ナビ研マークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわらず本機で使用できます。



ナビゲーションシステム研究会統一マーク

以下の地図ディスクをお使いになると、本機のすべての機能を利用することができます。

「ナビソフトドライブマップ全国版IV」(株) ゼンリン

地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

本書で使用している地図画面は説明用のものです。また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

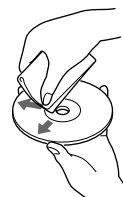
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。

特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆に地図ディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）を生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

メニューの種類について

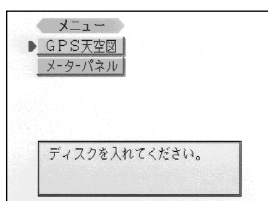
安全のため、パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でないと設定や登録などの複雑な操作はできません。

走行中にメニューボタンを押すと、「GPS天空図」「メーターパネル」「地図へ戻る」など、走行中に操作できるメニューが表示されます。



上記以外のメニュー操作中や、テレビ(外部入力画面)を見ているときにパーキングブレーキを解除すると、メッセージが出て地図画面に戻ります。

また、地図ディスクを入れない状態でも、「GPS天空図」と「メーターパネル」だけを見るメニューが表示されます。



上記以外の機能を使うためには、地図ディスクが必要です。

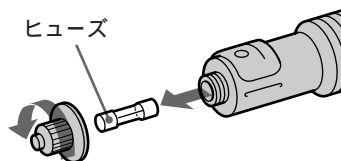
ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

リモコンやモニターなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



GPSアンテナ

- 本機のGPSアンテナは、取り付ける車のボディカラーに合わせて塗装することができますが、金属粉の含まれる塗料(メタリック系の塗料など)は、電波の受信感度の低下や、受信不能の原因になりますので、塗装しないでください。また、ワックスなども塗らないでください。雪などが積もった場合も受信感度が低下しますので、取り除いてください。
- 洗車をするときは、GPSアンテナに水を強くかけないでください。また、GPSアンテナを磁石で固定している場合に洗車機で車を洗車するときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。車を傷つけたり、アンテナコードが切れたりする場合があります。
- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。

地図ディスクプレーヤー

水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

モニター

- 4型未満のモニターをお使いになると、画面の解像度が低くなってしまいます。
より鮮明な画像でご覧いただくために、4型以上のモニターのご使用をおすすめします。
- お手持ちのモニターを接続した場合、画面の中心位置がずれたり地図画面の端が切れてしまうことがあります。
このような場合は「画面の位置を微調整する」(38ページ)の操作で修正してください。(ご使用のモニターによっては、修正できない場合もあります。)

内蔵のリチウム電池について

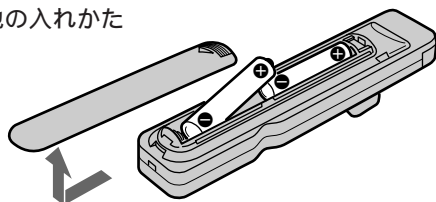
地点、マークなどのメモリーは、本体内蔵のリチウム電池で保持しています。リチウム電池の寿命は使用状態で異なりますが、約4～5年です。リチウム電池の交換については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

自律航法ユニット

- 強い衝撃を与えないでください。特に落としたり、ぶついたりすることのないように注意してください。
- 水がかからないようにしてください。湿気の多いところに長時間置いておくとセンサーが正しく動作しないことがあります。

リモコン

電池の入れかた



単3形乾電池2本(別売り)を+ - を正しく入れる。

乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、ジョイスティックでスクロールの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

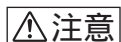
リモコンをホルダーから外してお使いになるとき、リモコンの操作ボタンを押しても、LEDが点滅しなくなった場合は、電池の寿命です。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

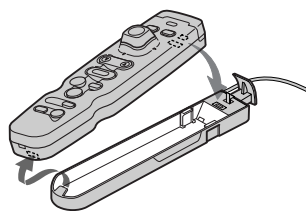
リモコンについてのご注意

- リモコンとホルダーの接点部にゴミやホコリ、水滴などが入らないように注意し、定期的に乾いた布などできれいにしてください。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコンをホルダーから外してお使いになるとき、直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

リモコンをホルダーに固定してお使いになるとき(リモコン受光部に向けて操作する必要はありません。)

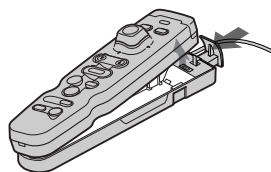
ホルダーに取り付けるには

カチッと音がするまで、確実に取り付けてください。



取り外すには

ホルダーのボタンを押してください。



メッセージが出たら

- 内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「あと××個のマークがつけられます。」	マーク用のメモリーが残り少ないときに、マークをつけた。	-
「安全のため、走行中は操作ができません。」	メニューを開いてから走行を始めた。	安全な場所に車を停車させてから、操作してください。
「安全のため地図画面に戻ります。」	テレビを見ているときに (外部入力時) 車を走行させた。	車を停車させると、自動的にテレビ画面に戻ります。
「温度保護回路がはたらきました。」	地図ディスクプレーヤーの温度が上昇した。	温度が下がるまで本機の電源を切ってお待ちください。
「外部入力の画面です。」	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、本機が外部入力に切り換わっていた。	地図画面にするには、外部入力ボタンを押してください。④
「現在地付近の地図がありません。」	お使いになっている地図ディスクに収録されていない地域に自車の現在地がある。	自車の現在地の収録されている地図ディスクをお使いください。
「この縮尺はありません。自動変更します。」	• お使いになっている地図ディスクに収録されていない縮尺の地図を選んだ。 • 地図が自動スクロールして、それまでの縮尺の地図がない地域になった。	本機は自動的に地図の縮尺を変更し、広域な地図を選んで表示します。
「システムエラー リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの▲ボタンまたはリセットボタンを押してください。⑤⑥
「設定した付近の地図がありません。」「設定した自宅付近の地図がありません。」	設定したときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	設定されている自宅、経由地、目的地が収録されている地図ディスクをお使いください。
「探索計算結果がありません。」	自動ルート探索実行前に、ルート確認操作をした。	出発地、経由地、目的地設定後、自動ルート探索を行ってから「ルート確認」を選択してください。
「ディスクを入れてください。」	地図ディスクプレーヤーにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。⑨

メッセージ	原因	処置
「ディスクエラー」	• ディスクを裏返しに入れたときや、ディスクが汚れている。 • 結露した。	• ディスクの表裏を確認して入れてください。汚れている場合は、別売りのクリーニングクロスなどでディスクをきれいにしてください。⁴⁴ • ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。⁴⁴
「ディスクフォーマットエラー」	ナビゲーションシステム研究会統一規格以外のディスクを入れた。	ナビゲーションシステム研究会統一規格のディスクをお使いください。
「入力された緯度経度の地図がありません。」	• 緯度/経度が正しい数値で入力されていない。 • 入力された緯度/経度の地域が収録されていない地図ディスクを使用している。	• 正しい数値を入力してください。²⁸ • 入力された緯度/経度の地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マークをつけた地域の地図がありません。」	マークをつけたときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	マークをつけた地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マーク100個すべてつけました。」	地図にマークを100個つけた。	100個以上のマークはつけられません。
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには、不要なマークを消去してください。」	地図にマークが100個ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。 ²⁵
「目的地が設定されていません。」	目的地を設定せずに、ルートガイドを開始した。	目的地を設定してください。 ¹⁵
「ルートを設定してください。」	ルートが設定されていないときに、ガイドボタンを押した。	ルートを設定してください。 ¹⁵
「GPSデータエラー」	本機は、GPS衛星の軌道データを常に本体にメモリーしておくことで、測位スピードを速めているが、その軌道データのメモリーが何らかの原因で消えてしまい測位できない。	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、このメッセージが何度も出る場合は修理が必要です。それ以外の場合には、見晴らしの良いところで本機を動作させて約20分ほどすると測位できます。

故障かな？と思ったら

- のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	• 障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。→見晴らしの良い場所に移動してください。 • 受信可能なGPS衛星の数が少ない。→メニューで「GPS天空図」を選び、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。^{③2} • GPSアンテナの取り付け場所が悪い。→なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。) • GPSアンテナと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→アンテナケーブルのコネクターを確実に(カチッと音がするまで)地図ディスクプレーヤーに接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
経由地や目的地に近づいても、アラーム音が鳴らない。	• 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。→設定を「ON」にしてください。 • 「ルートガイドの設定」をご覧ください。^{③5}
経由地や目的地に近づいても、音声案内が聞こえない。	• 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。→設定を「ON」にしてください。^{③5} • ご使用のモニターの音量が最小になっている。→ご使用のモニターの音量調節で適当な音量にしてください。 • 「道案内をさせる」をご覧ください。^{①0}
自車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	• GPS衛星からの電波の誤差が大きい。(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。)^{④2} • 自動航法/マップマッチングの誤差が生じている。→しばらく走行すると正しい測位をします。^{④2} • 自律航法ユニットと地図ディスクプレーヤーが正しく接続されていない。→自律航法ユニットのコネクターを確実に地図ディスクプレーヤーに接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
マップマッチングが働かない。(エラーシンボルが表示される。)	マップマッチングに対応した道路データが収録された地図ディスクを使用していない。→マップマッチングに対応した地図ディスクを使用する。^{①9}
モニターに何も表示しない。	• 外部入力に切り換わっている。→外部入力ボタンを押して切り換えてください。^{④1} • ご使用のモニターと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→モニターと地図ディスクプレーヤーを確実に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
メインメニューが表示されない。	安全のため、走行中は走行メニューのみ表示されます。パーキングブレーキを引いて車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。

症状	原因および処置
リモコンのボタンを押しても反応しない。	• リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。→ リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池が消耗している。→ 乾電池を交換してください。④6 • リモコンが正しくホルダーに固定されていない。→ 正しくホルダーに固定してください。④6 • リモコンホルダーとコネクションボックスが正しく接続されていない。→ リモコンホルダーケーブルのコネクターを確実にコネクションボックスに接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
IISなどの音声がでない。	ご使用のモニターの音量が最小になっている。→ ご使用のモニターの音量調節で適切な音量にしてください。
本機が動作しない。	地図ディスクプレーヤーのリセットボタンを押してください。⑤6

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

本機のバージョンアップについて

本機は将来の機能アップに備えてフラッシュメモリ*を採用し、本体内部のプログラムを書き換えられるように設計されています。プログラムを書き換えて、最新の機能を追加/変更することを「バージョンアップ」といいます。本機のバージョンアップでは、新たな拡張ユニット接続時のコントロールプログラムの追加や、ルートガイドなどの処理速度や使いやすさを改善するプログラムの変更などを行います。

バージョンアップは、「バージョンアップディスク」と呼ばれるCD-ROMを本機に読ませるだけで行うことができます。

バージョンアップディスクは、拡張ユニットに同梱される場合と、バージョンアップディスクだけを販売する場合があります。

今後のバージョンアップの時期や内容に関しては、カタログなどをご覧ください。

* 電氣的に書き換え可能な不揮発性メモリー

主な仕様

本体 (地図ディスクプレーヤー部、GPSレシーバー部、グラフィックコントロール部)

動作温度 - 10 ~ + 50

電源 DC12Vカーバッテリー
(マイナスアース)

消費電流 約1A

GPSレシーバー

受信周波数 1,575.42MHz (C/Aコード)

受信感度 - 130dBm

測位更新時間 約1秒

地図ディスクプレーヤー部

ナビゲーションシステム研究会統一フォーマット

入力端子 専用TVチューナーユニット接続端子

モニター接続端子

GPSアンテナ接続端子

ビデオ入力端子

光デジタル入力端子

ナビバス端子(2)

リモコン接続端子

出力端子 ビデオ出力端子

オーディオ出力端子

GPSアンテナ

動作温度範囲 - 30 ~ + 75

防水方式 防噴流仕様

マイクロストリップ平面アンテナ

自律航法ユニット

検出方式 圧電振動ジャイロ

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

本体 約190×51×203mm
(突起部含まず)

モニター 約160×106×50.5mm

リモコン 約38.6×35×167mm

GPSアンテナ 約45×18.5×48.5mm

自律航法ユニット 約59.6×99.6×46mm

質量

本体 約1.7kg

モニター 約670g

リモコン 約140g

GPSアンテナ 約140g

自律航法ユニット 約0.3kg

付属品

リモコン (ワイヤード)

GPSアンテナ

電源コード (1)

取り付け / 接続部品 (一式)

取扱説明書 (一式)

ソニーご相談窓口のご案内 (1)

保証書 (1)

拡張ユニット (別売り)

ATISユニット (デジタル・アナログ携帯電話用、ATIS対応地図ディスク別売) XA-160A

ATISユニット (デジタル携帯電話用、ATIS対応地図ディスク別売) XA-165A

デジタル携帯電話アダプター XA-170C

別売り品

ナビシステム専用5型モニター XVM-G50

ナビシステム専用6型モニター XVM-G60

リモコン受光部 XA-180R

ナビシステム専用TVチューナーユニット
XT-50NV

FMトランスミッター XA-103

モニターカバー GM-62

GPSアンテナブラケット GM-57

接続コード RC-117 (ナビバス延長コード)

モニター延長コード RC-116M

電源コード RC-118P

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

用語集

実際の操作などに関して、詳しくは●内のページをご覧ください。

自律航法について 38

GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。

正確な測位のためには、付属のセンサーボックスと車速センサーを正しく取り付けする必要があります。詳しくは「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

マップマッチング 43

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。

この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

GPS (Global Positioning System) 32

このシステムはGPS衛星（人工衛星）から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地（緯度・経度・高度）を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

時計表示 33

GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

測位 (Positioning) 32

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

軌跡 30

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印（点）です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント（点表示）の軌跡を表示します。

（本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。）

IIS (Integrated Information Services) 29

ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた、ドライブ情報提供プログラムのことです。IISのドライブ情報の内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますが、どの地図ディスクをお使いになっても、同じ操作でIISのドライブ情報を見ることができます。（IISが収録されていない地図ディスクもあります。詳しくは、地図ディスクのカタログや取扱説明書をご覧ください。）

外部入力 41

別売りのTVチューナーユニットを本機と接続して、接続しているモニターでテレビを見ることができます。地図画面とテレビ画面との切り換えは、リモコンの外部入力ボタンを押すだけでできます。また、テレビの音声を聞きながら地図を見ることのできるサイマル機能もあります。

合成音声 36

本機では「規則音声合成方式」によって音声を合成し、出力しています。

これは、ひらがな1文字にあたる短い音声信号を、言葉に合わせて順々につないでいく方法です。声の抑揚や話す速度も、その言葉に最も合うように自動的に作成し、音声を合成していきます。

従来のように録音した音声を再生する方式と違い、地図ディスクに収録されているほとんどの地名や交差点名を読み上げたり、目的地までの距離や現在の時刻を声でお知らせしたりすることができます。

索引

五十音順

ア行

音声

案内音声	36
ガイド	19
警告音声	36
設定	36
リモコン操作音	36

カ行

ガイド

音声ガイド	19
シンプルガイド	23
矢印ガイド	18、35
ルートガイド	6、10、15

外部入力ボタン	41
---------	----

拡張ユニット	40
--------	----

消す

音声	36
自宅	27
走行軌跡	30
マーク	25

経由地

修正	20
設定	10、15
保存	21
呼び出す	22

現在地を知る	8
--------	---

交差点

音声ガイド	19
拡大表示	13

高度	33
----	----

サ行

サイマル機能	41
--------	----

探す

緯度経度から	28
現在地	8
地名などで	24
目的地	24
ルート	11、14

自宅

消す	27
登録	27
表示	27

自車

位置	8
位置修正	38
マーク	8

修正する

経由地	20
出発地	20
地点	20
目的地	20
ルート	20

自律航法ユニット

	7、39、40
--	---------

出発地

修正	20
設定	10、15
保存	21
呼び出す	22

設定する

音声	36
経由地	10、15
出発地	10、15
地点	10、15
目的地	10、15

選局

自動選局	40
メモリー選局	40

走行軌跡

色を変える	30
消す	30
表示する	30

タ行

地図画面

回転	10、37
拡大/縮小	11
微調整	38

地図ディスク

入れる	9
お手入れ	45
経路探索データ	
について	17
使用できる	
地図ディスク	44
種類などを見る	33
情報を見る	29

地点

修正	20
設定	10、15
保存	21
呼び出す	22

ハ行

表示

地図カラー切り換え	37
時計	37
マーク	37

保存する

経由地	21
出発地	21
地点	21
目的地	21
ルート	21

マ行

マーク

消す	25
シンボルを変更する	26
つける	25
表示	37
呼び出す	26

道案内

概要	6
道案内をさせる	10
直線距離・方向だけの 道案内	23

見る

現在地	8
車の速度など	33
自宅	27
地図ディスクの種類 など	33
ドライブ情報	31
マーク位置	37
道案内	10
ルート	22
GPS衛星の受信状態 ...	32

メニュー

選びかた	14
種類	45
サブメニュー	14

目的地

探す	24
修正	20
設定	10、15
保存	21
マーク	10、11
呼び出す	22

ラ行

リモコン

クイックボタンへの割り付 け	36
ボタンの説明 . 34、裏表紙	

リルート機能	18
--------------	----

ルート

探す	11、14
探し直す	20
修正	20
新規作成	15
探索条件変更	20
ひと通り見てみる	22
外れたとき	13、18
保存	21
呼び出す	21
リルート機能	18
ルートについて	17

ルートガイド

概要	6
ルートガイドをさせる .	10
便利な機能	18
設定	35

アルファベット

AUXインジケーター	41
GPS衛星	32
IIS検索	24

この装置は、第2種情報処理装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因になることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

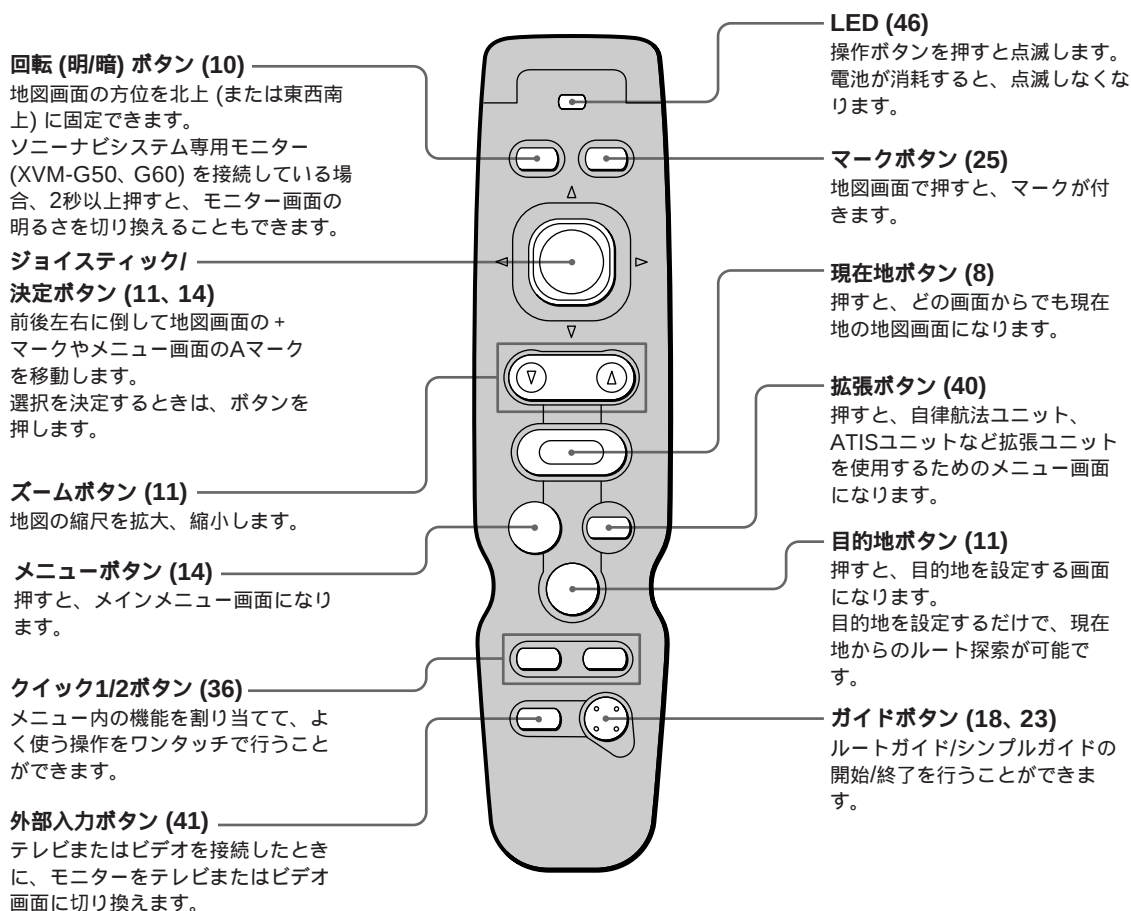
お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

各ボタンの使いかた

リモコン

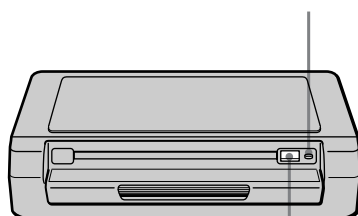
詳しくは、() 内のページをご覧ください。



地図ディスクプレーヤー

リセットボタン

初めてお使いのときに、エンジンをかけてからボールペンの先などで押して、電源を入れます。



△ボタン

地図ディスクを取り出します。